



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.47)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成28年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	35台	3,173台
コンデンサ類	2,099台	44,746台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京PCB処理事業部会を開催しました



東京PCB処理事業部会

10月5日、平成28年度第2回東京PCB処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会では、議題1として「平成28年度上期の東京PCB処理事業所操業状況について」をご報告させていただきました。

年度当初のトラブルにより、全体の処理に遅れが生じましたが徐々に挽回していることを確認いただきました。

議題2として、環境省よりPCB早期処理に向けて施行された「平成28年改正PCB特別措置法の概要」をご説明いただきました。

その他の議題として、ストックホルム条約で新しく規制対象となりましたポリ塩化ナフタレン含有品の大阪PCB処理事業所での試験結果を報告しました。この物質は新たに規制されるものですが、東京事業エリア内の登録機器には含まれておりません。

今後も各委員からのご指導をいただき、事業終了に向けて安全確実な処理を進めていきます。

なお、前号(NO.46)に記載の平成28年度第1回東京PCB処理事業部会の開催日が7月1日となっていたことが、7月5日の間違いでした。訂正いたします。

東京スーパーエコタウン協議会事業

「ビーチクリーンアップ in 城南島2016」に参加しました

10月16日、当事業所が加入する東京スーパーエコタウン協議会^(※)事業の一環として、城南島海浜公園の清掃活動に参加しました。この活動は、城南島海浜公園ビーチクリーンアップ実行委員会が主催する活動で、大田区城南地区の企業、東京スーパーエコタウン協議会の企業が参加して毎年行われております。当日は天候にも恵まれて家族連れも含め多数の参加者により、砂浜に打ち上げられた木・缶・ペットボトルなどが回収され、活動後はきれいな砂浜に甦りました。当事業所は東京スーパーエコタウン協議会の一員として今後も引き続き各種地域活動に積極的に取り組んで参ります。

(※) 東京スーパーエコタウン協議会…スーパーエコタウン内の9事業者が相互に協力連携し、事業効率の向上を図ることを目的に設置



ビーチクリーンアップ活動

◎ スーパーエコタウン事業とは (※東京スーパーエコタウンHPから抜粋)

東京都は、首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において、所有地を活用した廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めてきました。これまでに、中央防波堤内側地区には、PCB廃棄物処理施設及びガス化溶融等発電施設が稼働し、また城南島地区には、建設混合廃棄物リサイクル施設、廃情報機器等リサイクル施設、食品廃棄物リサイクル施設及びがれき類・泥土リサイクル施設が稼働しました。都は、都内処理率の向上と最終処分量の削減を推進し、廃棄物問題の解決を促進するため、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めます。

救命講習会を開催しました

9月27日、臨港消防署救急係の方を講師にお招きして、JESCO社員および運転会社社員の計18名を対象に救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫をはじめ人工呼吸およびAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法について人形を用いた実地訓練を行い、また、気道異物除去法や応急手当についての講義を聴講しました。

緊急事態に遭遇した場合を想定した訓練を通じて、救急・救命の重要性を再認識するとともに、的確な応急対応の知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。



救命講習会

上半期(4月 - 9月)施設見学状況

上半期の見学には、保管事業者、官公庁等、45団体合計401名の方々にお越しいただきました。

	4月 - 6月	7月 - 9月	上半期計
団体数	22団体	23団体	45団体
見学者数	185名	216名	401名



情報公開ルームモニター見学

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



情報公開ルームの展示物①



情報公開ルームの展示物②

環境報告書2016を発行しました

平成27年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取り組みをまとめた『環境報告書2016』を9月に発行しました。

この報告書は、当社の環境と安全に対する取り組みを積極的にお知らせするために、毎年発行しているものです。また、環境保全に加えて、PCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、PCB廃棄物処理事業検討委員会等の取り組みについても記載しています。発行に当たっては、第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

『環境報告書2016』は、当社のHPにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)
Tel.03-3599-6023
<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>